



あゆみキッズだより



(vol.188 文責：土屋)



～インフルエンザ予防接種～



先月の終わりから、朝晩が冷え込むようになりましたが、日中との気温差もあり体調を崩しやすくなる原因の1つです。秋空の中、子ども達も外で思いっきり体を動かして楽しませてあげたいですね。生活リズムを整えて、予防を心がけて元気に過ごせるようにしましょう。

これからの時期に流行するインフルエンザの予防接種についてお知らせ致します。又、減少傾向にある新型コロナに関してもしっかりと感染対策しましょう。

2020年から2021年にかけては、新型コロナ予防の対策として手指の消毒、マスク着用、三密回避、人の移動の制限等で感染対策ができており、インフルエンザの予防について効果があった為、感染への報告がほとんどありませんでした。しかし、前シーズン感染が少なかった為、集団免疫が作られていない可能性があるため、ウイルスが持ち込まれた場合に大流行するのではないかと予想されています。例年通りにインフルエンザの予防接種を受けていた方が安心ですね。

●先月 10/1 から接種開始 ●6ヶ月以上が対象

(接種回数) ★13歳未満 2週間から4週間 (できれば4週間)

★13歳以上 1回接種。

・抗体ができるのに1～3週間ほどかかるので流行期の1～2ヶ月前までに接種をすませておきましょう。

※新型コロナワクチンとその他のワクチンとは、互いに片方のワクチンを受けてから2週間以上の間隔をあけて接種することが必要です。



RSウイルス感染症

秋から冬にかけて多くなるRSウイルス感染症。感染力が強く、年齢が低いほど重症化しやすく呼吸困難になったり、気管支炎・細気管支炎・肺炎などの合併症を起こしたりする事もあります。流行の兆しがあり咳が続く時などは、早めに病院の受診をしましょう。

軽い風邪の症状で済むことも多いが、乳児が感染した場合は重症化しやすいので気をつける。



ゼーゼーと息をして、重症になると呼吸困難になる。

鼻水・咳など風邪のような症状がでる。熱がでないこともある。



- ・咳がひどい時は、体をおこして楽な姿勢にする。
- ・室温は、上げ過ぎずに加湿する。
- ・水分は少しずつゆっくり飲用させる。



潜伏期間=2～8日

感染者の咳やくしゃみによる飛沫感染や感染者が直接触れたり、触れた物を介して接触感染する。